



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2023年
2月号
(第79号)

今月のことば

「清潔な生き方を目指した方がいい。心の安定が得られ澄んだ気持ちで生きていける。」
 昨年92歳で亡くなった渡辺京二氏の言葉 (石川良一選)

2022~2023年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「みんなで喜びをシェア！」

東新部部長 深尾香子(東京多摩みなみクラブ)

「All 東新部、始動! Change! 2022 ラストスパート、ポスト 2022 始動」

東日本区理事 佐藤重良(甲府 21)「未来に向けて今すぐ行動しよう」

アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン(台湾)「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

国際会長 ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)「輝かそう、あなたの光を」

《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 直前会長 深尾香子

書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です)

今月の強調テーマ:「TOF」「FF」「HTW」 (強調テーマ略語の解説は本誌3ページに記載しました)

2月3クラブ合同例会プログラム

(東京町田コスモス、東京町田スマイリング、東京多摩みなみ)

日時: 2月7日(火) 18:30~20:00

会場: ベルブ永山 3階講座室

(小田急多摩線永山駅下車徒歩4分)

オンライン Zoom での参加もできます

会費: なし (食事はありません)

(ホスト: 東京多摩みなみクラブ)

司会: 石田孝次

- *開会点鐘 伊藤幾夫会長
- *ワイズソング
- *今月のことば 石川良一
- *ゲスト/ビジター紹介 伊藤幾夫会長
- *ホストクラブ会長挨拶 //
- *東京町田コスモス/東京町田スマイリング会長挨拶
- *今月のスピーチ 横山由利亜さん
「侵攻1年一日本に避難するウクライナ人は今」
- *次年度東京多摩みなみクラブ役員承認
- *YMCA ニュース、アピール等
- *スマイル(今月はウクライナ支援のために)
- *ハッピーバースデー
- *YMCA の歌
- *閉会点鐘 伊藤幾夫会長

巻頭言「週一、元気をもらって感謝！」

私も今年の2月で80歳になります。忘れ事が多く、それ以前とは全く違う世界へ急激にきた思いです。病気やケガもあり、夜間はワイズの会合にも出られずに悩んでいた時に、友人に誘われて、多摩市永山団地の商店街にある小さな食堂、NPO 法人「福祉亭」で、週に一日だけボランティアとして働くことになりました。そこは我が家から数分の所にあり、20年程前から地域の高齢者の居場所となる願いを持って続けられてきています。毎日訪れる人たちに、お昼の定食やお茶等をとても安価に提供して、お互いに知り合い、楽しい時間を過ごせるように、時にはスタッフが話し相手になったり、相談に乗ったりする姿も見られます。また、お店に通えない人には、お弁当の配達もしています。私たちは裏方の調理場で、食事の準備や片付け等を手伝っています。朝から夕方まで立ちっぱなしですが、訪れる人が自由にゆったりと食事を楽しんで、笑顔で挨拶したり、「おいしいね」などと言って下さることが嬉しく、この人たちに大切な場所なのだと思うと、疲れを感じないのです。私も元気をもらって感謝です。(井上富子)



2月 当クラブのお誕生日
井上富子 (15日)、伊藤幾夫 (17日)

1月例会	在籍12名 (内広義会員3名) 合同新年会出席90名	出席内訳	メンバー		BF		ファンド	
			7名	0名	切手	0g(今年度累計 110g)	オークション	0円
			出席率	78%	使用済み切手、少しでもご持参ください			(今年度累計 8,700円)
			メネット	0名	ぼんぼこファンド	0円	スマイル	0円
			ゲスト・ビジター	83名		(今年度累計 29,100円)		(今年度累計 23,922円)

1月例会（在京ワイズ合同新年会）報告

1月7（土）、2年ぶりに在京ワイズ合同新年会がリアルで開催され、当クラブは、これを1月例会といたしました。因みに、昨年はハイブリッド開催（各クラブ2名のみリアル参加）、一昨年は中止でした。会場は、西早稲田の日本基督教団早稲田教会礼拝堂（早稲田奉仕園スコットホール）で、ホストは東京世田谷クラブ、有料参加者は90名でした。

第1部は、正午から新年礼拝と挨拶/アピールでした。説教は、早稲田教会の古賀博牧師による「光の子として」、挨拶

アピールは、菅谷東京YMCA総主事、チャタリング・シェン・アジア太平洋地



域会長（3月に台北で開催されるワイズメンズクラブ国際協会100周年祝賀会のアピール）、佐藤東日本区理事（2月の東西日本区交流会、6月の東日本区大会のアピール）および伊藤幾夫さんから東新部EMCセミナーの案内が行われました。予定の12時20分を大幅に超過し、13時に終わりました。

第2部は、14時まで、ウクライナ支援チャリティーコンサート。ウクライナで活躍中ですが、ウクライナ侵攻によって日本に一時帰国中のカノンデュオシスターズ（嘉村えりか、ゆりえ姉妹）によるピアノの連弾。コンサートの前半は「新世界から」、「第9」等のクラシック。後半は「ダニーボーイ」、「「ひまわり」の愛のテーマ」、「ラ・カンパネラ」等のポピュラー曲で、いずれも熱情あふれる素晴らしい演奏でした。なお、姉妹のドレスは、ウクライナ国旗の色、ステージの花は、ウクライナ国花のひまわりでした。



参加費は2,000円で、剰余金（約6万円）、会場での募金（約9万円）、DVD売り上げ（10万円）と合わせて、合計約25万円が東京YMCAウクライナ募金および姉妹の関わるウクライナ支援プロジェクトに捧げられました。

当クラブは、深尾さんがプログラムの企画、石田さん、綿引さんが受付、会計を担当するなど、ホストクラブを支援し、会の成功に大きく貢献することができました。なお、在京ワイズクラブ会長会が開催されなかったのは残念でした。（田中記）

《当クラブからの出席者》石田、伊藤（幾）、伊藤（江）、小野、田中、深尾、綿引（7名）

1月第2例会報告

1月9日（月）、1月第2例会が開催されました。1月例会（在京ワイズ合同新年会）の報告、感想、反省等の話し合い、クラブ会計報告、2月ブリテン構成の他に以下が話し合われました。

- 第4回プランター野菜講座の追加回の実施について検討する。
 - 2月合同例会ではスマイル献金を行い、日本YMCA同盟ウクライナ募金に捧げる。本件、事前に伊藤会長が2クラブの了解を得ておく。
 - 12月合同例会の会計報告が未了であり、3クラブで相談の上、早期に完成させる。
 - 東日本区への各種献金については、例年どおり、クラブ会計からの拠出と個人の自由献金とを合わせて東新部会計口座へ送金する。（田中記）
- 《出席者》石田、伊藤（幾）、小野、田中、深尾、綿引（6名）

自主献金のお願い

会計：綿引康司

例年、2月にはメンバーの皆様へ自主献金をお願いしています。今年度の献金科目は、地域奉仕(CS)、主事・リーダー研修(ASF)、エイズ啓発(FF)、代表派遣・国際役員旅費(BF)、弱者等支援(TOF)、マラリア撲滅(RBM)、クラブ新設(YES)、ユース活動支援の8科目です。昨年度から例会時の食事を取りやめたことからぜひTOFを献金対象に入れてください。また年賀切手シートでの献金も受け付けています。自主献金は下記クラブ口座へのお振込みをお願いします。皆様のご協力、よろしくお願ひします。

【振込口座】多摩信用金庫 桜が丘支店 普通預金 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ

BF切手

使用済み切手を担当の藤田までご提出ください。2月合同例会にお持ちください。少しでも結構ですので、よろしくお願ひいたします。BFとは、以前は「Brotherhood Fund」の略でしたが、昨年5月の国際議会で「Building Fellowship」と名称が変更になりました。BF代表の公式旅行やワイズ運動のリーダーを養成するための費用に充当するため、全ワイズメンが積み立てる基金です。集めた使用済みの切手を換金し、無から有を生み出すことが、この活動の原点です。ご協力をお願いいたします。（藤田記）

部長公式訪問

2月13日（月）19:00～20:30、オンラインZoomにて、第2例会を行います。この日は「部長公式訪問」となります。深尾部長と部役員が出席されます。多くのメンバーでお迎えしたいと思います。メンバーのご出席をよろしくお願ひします。（伊藤幾記）

2月例会 ゲストスピーチ

<ゲストスピーカー>

横山由利亜さん



(公財)日本YMCA 同盟理事、主任主事。1969年、京都府宇治市生まれ。東京女子大学で哲学を学び、卒業後の93年に日本YMCA 同盟に就職。国内外の人道支援に携わり、2019年から社会協働プロジェクトの責任者。ロシアのウクライナ侵攻後、ウクライナ避難者支援プロジェクトを立ち上げる。

<スピーチタイトル>

「侵攻1年—

日本に避難するウクライナ人は今」

<スピーチ概要>

日本YMCA 同盟は、ヨーロッパYMCA と連携し、全国のYMCA・ワイズメンズクラブなどからの募金を用いて180名のウクライナ人の日本への避難支援を開始しました。7月からは東京都と協定をむすび、東京都ウクライナ避難民マッチング支援事業を担当しています。中長期化が想定される中、いま日本に避難するウクライナ人はどのような課題に直面しているかをお話しいたします。

公示:2023-2024 年度クラブ役員候補者

次期クラブ役員候補者を次のとおり選出しました。前年度と同じ顔ぶれになります。2月例会で承認を受けます。

- *会長候補：伊藤 幾夫
- *書記候補：田中 博之
- *会計候補：綿引 康司
- *直前会長：深尾 香子
- *担当主事：小野 実

東新部次期役員準備会 I 報告

1月28日(土)15:00~16:40、Zoomで次期役員準備会Iが14名の参加で行われました。今井武彦次期部長(東京むかで)の主題、活動方針が示されました。主題は「ALL 東新部、継続・発展!」、活動方針についての議論が行われました。当クラブから下記4名が部役員として加わります。

直前部長：深尾香子、部会計：石田孝次、地域奉仕・YMCA サービス事業主査：綿引康司、LT 委員長：伊藤幾夫(当日、石田さんは所用で欠席)(伊藤幾記)

国際会長交代

国際会長 K・C・サミュエル(インド)が1月17日に辞任し、新国際会長に次期国際会長に指名されていたウルリック・ラウリドセン(デンマーク)が就任しました。主題は1ページに掲載しました。(伊藤幾記)

東新部 EMC セミナー

「ワイズは楽しい!」を取り戻しましょう!をテーマに下記のとおり EMC セミナーを開催します。東新部でも、会員の高齢化、減少化の傾向にあり、どのクラブも活気が見られません。このままですと、ワイズの存続が危ぶまれます。そのためには「イノベーション(大胆な発想)」が必要と考えます。今回のセミナーでは、クラブを統合して会員規模を大きくしよう、会員数が大きくなると活気がある、活気があると人が集まる、このようなプレゼンを考えています。みなさん、ご参加ください!

日時：2月25日(土)13:30~16:00

場所：東京 YMCA 東陽町センター1階カフェテリア《プレゼンター》

加藤義孝(東京) 東新部会員増強事業主査
伊藤幾夫(東京多摩みなみ) 東新部 LT 委員長
(伊藤幾記)

今月の強調月間テーマ

2月の強調月間テーマは以下のとおりです。ご理解を深めていただき、献金へのご協力をお願いいたします。

【TOF】

タイム・オブ・ファスト(Time of Fast: 断食の時)の略称で、「ティー・オー・エフ」と発音します。クラブ例会での食事を抜き、その金額相当分を東新部、東日本区経由で国際協会に献金します。献金は、世界中のYMCA、ワイズメンズクラブから募集して国際協会が選定する、発展途上国を主たる対象とするSDGsに関連するプロジェクトに用いられます。全世界のクラブは、強調月間である2月のクラブ例会や区、部の会合の食事を抜いたり、簡素なものにしたりして、その分を献金するよう努めています。

【FF】

ファミリーファスト(Family Fast)の略称で、TOF 献金を家庭内や、知人、友人に呼びかけて行う、日本のワイズ独自のプログラムです。東日本区ではHIV/AIDS 啓発活動の資金に用いられています。

【ヒールザワールド】

「世界を癒そう」(Heal the World)。国際協会が2020/21年度に開始した統一国際プロジェクトで、世界を癒すために、強固な国際的な関与と組織的な連携、連帯を構築して、私たちのボランティアの力を、より発揮することを目的としています。主な活動内容は、災害時等の救援物資の提供/ボランティア支援、医療/健康プログラム、専門家のネットワーク構築など。プロジェクトの資金は、主としてTOF 献金が用いられます。これまで、インド、ラテンアメリカの新型コロナウイルス被災者支援やウクライナ支援がヒールザワールドのプロジェクトとして行われてます。(田中記)

慈有塾のほしい物リスト品お届け完了報告

待ちに待った4層ラックが漸く我が家に届きました。お約束の1月21日(土)の9時半に慈有塾の教室にお届けするため、自宅マンションの立体駐車場に移動したら、あろうことかこの日のこの時間に機械のトラブルで駐車場から車が出せない。驚き慌てるだけで万事休すの状態になっていましたが、間もなく保守会社の車が到着し何とか窮状を脱することができ、10分遅れで聖蹟桜ヶ丘の教室に到着できました。高木代表と末娘のお嬢ちゃんが待っていてくれました。

早速梱包品をお渡しし、記念写真の撮影もできました。私は、次の予定があり組み立て後の完成写真はメールで送っていただきました。写真にあるように苦学生たちに無償で提供できる食料品の他、文房具、携行品などの品々を展示するためのものでした。大変喜んでいただき、共に"well-being"な気持ちを共有することができました。この姿を見て、ぽんぼこ農園のお野菜もこのラックに入れて欲しい学生に差し上げるのだと、当初4



層ラックのリクエストをいただいた時に高木さんがメールで伝えてくれていました。次は、苦学生に一番人気の「カロリーメイト」の箱詰めを提供を例会の場で諮りたいと思います。やれる範囲で望まれるものを提供できれば、お互いにハッピーなので。これぞワイズが目指す地域密着型のボランティア活動の姿であり、それを実践する対象が、「慈有塾」と子ども食堂の「ほくの家」ということとなります。農園で採れる野菜の他、イベントを開催してファンドを作り、リクエストの品をお届けできるかもしれませんね。ファンド作りは、先日町田で行ったバザーでも可能です。たとえ小さくても一つ一つのことを積み上げ、ボランティア活動の体系としてつなげて行けば、一層の広がり期待され将来に向け大きな力になると実感できました。我がクラブのメンバーが、この2つの地元の支援団体を支える関わり方についても広く浅くできることは、他にもあるような気がします。みなさんの英知と行動力でボランティアサービスの幅を広げて行きましょう。

(石田記)

これからの予定

- 2/4(土)-5(日)東西日本区交流会 神戸
- 2/7(火)3クラブ合同例会 ベルブ永山&Zoom
- 2/13(月)第2例会「部長公式訪問」Zoom
- 2/25(土)東新部 EMC セミナー 東陽町センター

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

東京 YMCA へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。YMCA ニュースをお届けいたします。

【予定・報告】

1. 関東大震災から100年になることを記念し、1月22日に全社協・灘尾ホールにて内閣府主催「防災とボランティアのつどい」が開催されました。東京 YMCA から秋田正人主事(教育・保育事業部/地域福祉事業部統括)が発表者の一人として登壇し、当時の東京 YMCA による救護活動の様子などを紹介しました。
2. 2023年度より品川区北品川(御殿山トラストタワー内)に、「東京 YMCA ウェルネスガーデン品川御殿山」を新規オープンし、主に幼児から高校生を対象とした水泳クラスを開設します。
3. パートナーシップ関係にあり長年支援を続けているバングラデシュ YMCA の活動を視察するため、2月19日~26日に5名の職員が現地を訪問します。
4. 今後の主な行事日程
 - ・「早天祈祷会」 2月1日 7:00~8:00
会場：山手センター、及びオンライン
奨励：松本数実主事
(東京 YMCA 国際・総合教育事業部統括)
 - ・「第17回子育て講演会」1月28日 オンライン
講師：大豆生田啓友氏(玉川大学教育学部教授)
テーマ：「いまどきの子育てで大切なこと
~幸せ子育てのコツ~」
 - ・「ピンクシャツデー」 2月22日
(いじめのない世界を目指すキャンペーン)
 - ・「愛恵エッセイ賞表彰式」 3月4日 オンライン
(愛恵福祉支援財団との共催)
 - ・「第32回チャリティーゴルフ大会」 4月13日
会場：PGM 総成ゴルフクラブ
 - ・「東日本地区 YMCA 役員研修会」 4月15日
オンライン
講師：寺島実郎氏(一般財団法人日本総合研究所会長/多摩大学学長)

5.感謝

- ・1月7日開催の「在京ワイズ合同新年会」(ウクライナ支援チャリティーコンサート)の席上献金より、東京 YMCA ウクライナ募金として92,170円をいただきました。

6.深悼 謹んで哀悼の意を表します。

- ・茅野徹郎氏(元財団法人東京YMCA理事長/名誉会員) 1月1日召天 享年91

編集後記 2月4日は立春。寒い日が続いていますが、春はもうそこにあります。昨年2月25日に始まった、ロシアによるウクライナ侵攻は、まもなく1年になろうとしています。どれだけの犠牲者がであれば戦禍は収まるのか。2月合同例会では横山由利亜さんから「ウクライナ避難民の今」をお聞きします。とにかく1日も早い平和を願わずにいられません。(i)